

● グループ編成後の活動計画は

- ア) 調査や現地研修の活動を効果的に実施するために、まとめ取り（水曜日の午後）や時期を集中（報告会及び文化祭）させるようにした。
- イ) 教師の適切な指導の下、毎時間活動内容・反省を記入できるファイルを活用した。
 - ◇生徒自らが自己選択・決定する場面や調査する主体的な場面の設定
 - ◇生徒自らが問題を解決するための試行錯誤の場面の設定



● 準備（校内・外）するものは

- ア) グループ毎のファイル及び個人ファイル
- イ) 学校図書室の充実と地区センターの利用
- ウ) インターネットの活用
- エ) 関係機関・団体との渉外



● 活動の成果（報告書・発表会）は

- ア) 地域のお世話になった方や保護者を招いて「明和タイム」報告会を開催した。（模造紙、コンピュータ、寸劇など）
- イ) 開かれた学校づくりを一層進めるために、文化祭などを発表の場として設定した。
 - ◇生徒自らが発表する主体的な場面の設定
 - ◇自らが学習を振り返り評価する場面の設定

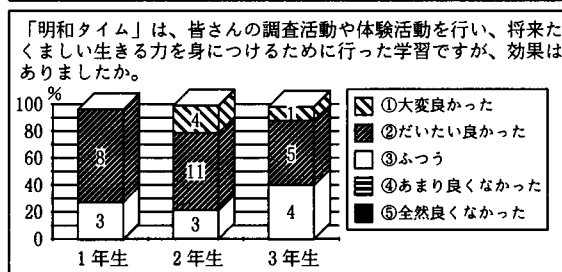
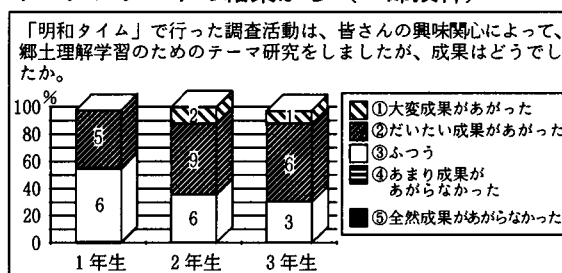
(3) グループ編成（活動計画一覧表）

グループ	○：研究テーマ ●：調査方法
明和中調査隊	①なぜ現在のような地区名称になったのかの由来 ②只見町の地区毎の人口の推移とその年代の出来事 ●①地域の方の訪問 ●②只見町史や官報等での調査 ●③インターネットで検索（ホームページ）
ホワイト＆グリーン	①只見町の降雪量 ②昔と今の冬に使う道具の違い ③雪の対策(対処法)④只見地区の山々の生態や地形 ●①町史や地区センターの資料活用 ●②地域の人々の声を参考にする
	①昔話を知り尽くす ②昔話を語れるようになる

チーム T R C	①南会津民話集からの調査 ②語り部を訪ね、昔話の由来と語り方の研究
うまし・たのし レッツ・ドン	①町の食文化について ・はやすしの作り方・そばうち体験 ●①そば打ち名人宅の訪問 ●②地域の郷土料理家からの情報収集
FBI	①ボランティア活動を推進していく中で、お年寄りや幼児と交流を深める ●①保育所を訪ね、幼児との交流と少子化傾向の研究 ●②あさひヶ丘を訪ね、只見町の将来と福祉関係の調査
リバーサイド・エクスプレ ス	①川に棲んでいる魚や生き物の種類について ②川魚の習性や特徴、棲息する箇所について ●①「川のものしり館」で昔から伝わる漁法の調査 ●②現在の只見町の河川や湖の状態の研究

III 成果と課題

1 アンケートの結果から（一部抜粋）



「明和タイム」の調査活動について、「成果があった」が全体で6割を占めた。学年が上がるごとに数値が高くなっている。1年生では、活動の半数が「ふつう」と答えている。

「生きる力」が身についたかどうかについては、7割強の生徒が、「効果があった」と答えている。その他、活動の成果をあげるためにはどうしたらよいかという問いには、「図書などの資料を増やす」「地域の人材をもっと活用する」などの答えが多かった。時数に